

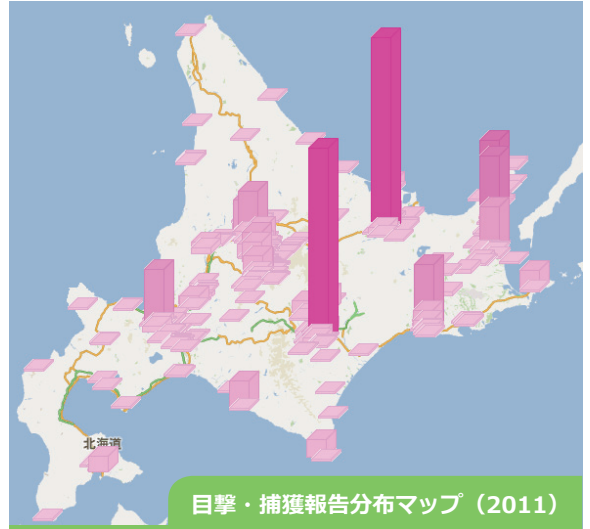
# 「セイヨウオオマルハナバチ」 モニタリング

2011 年度  
報告

—2011 年度活動結果のご報告と 2012 年度活動のお願い—

## 目次

ご挨拶	・・・p1
2011 年度捕獲結果概要	・・・p2
セイヨウがよく捕獲される花	・・・p3
春の捕獲活動のお願い	・・・p4
セイヨウの生活史と捕獲のポイント	・・・p5
在来マルハナバチモニタリング	・・・p5
お便り紹介	・・・p6
システム改修点のご案内	・・・p7
セイヨウ情勢サイト活用術	・・・p8



## ご挨拶

今年の冬は一段と厳しく、ようやくやってきつつある春にほっとしているこの頃ですが、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。セイヨウオオマルハナバチモニタリング活動は皆様の熱心なご協力に支えられ、5年目の2011年度の調査を無事終了致しました。今年度より報告形式がオンライン形式となりましたが、これまで通りの沢山のご報告を頂き、今年もこうして報告書をまとめることができました。セイヨウ事務局一同、大変嬉しく思っております。有難うございました！

今年度の報告書では、2011年度の活動結果をご報告するとともに、これまで皆様から寄せられた膨大なデータを基にした解析結果もお伝え致します。また、セイヨウ情勢サイトは皆様からのご意見を基にリニューアルしました。こちらのご案内も掲載しておりますので、サイトにアクセスされる際のご参考となれば幸いです。

今年度はオンライン形式の導入により、前年度と比べて情報公開のスピードが圧倒的に速くなりました！2010年度では観察日から公開日まで、平均して4ヶ月以上かかっていましたが、2011年度では約1ヶ月に短縮され、リアルタイムに近い公開が実現しました。これもひとえに皆様のご理解とご協力によるものです。重ねてお礼申し上げます。





確認市町村数	61
活動参加者数	248
セイヨウ目撃数	40,346
在来種目撃数	2,759
セイヨウ全捕獲数	33,282
セイヨウ（女王）捕獲数	5,401
巣報告数	5
全報告件数（在来含む）	4,332

表 1：2011 年度活動結果

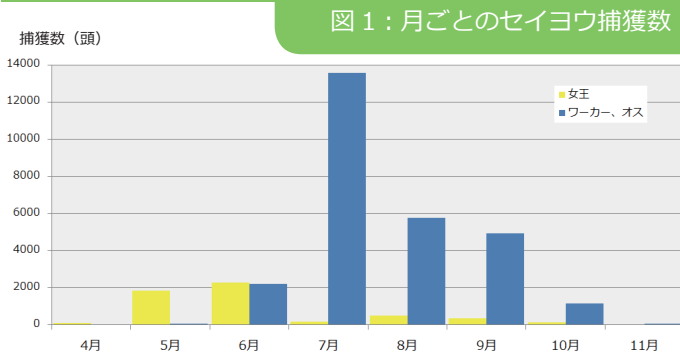
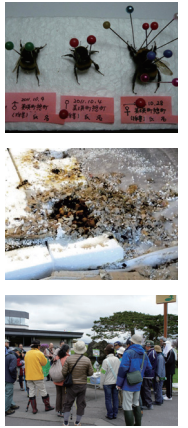
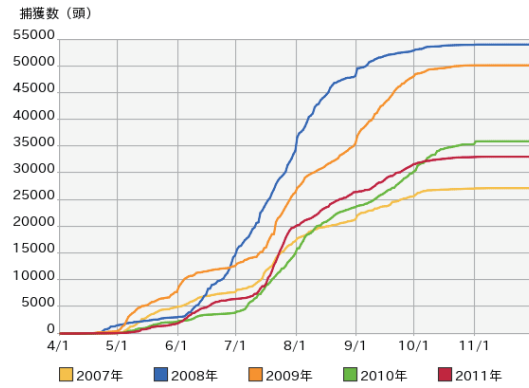


図 1：月ごとのセイヨウ捕獲数

## 2011 年度捕獲結果概要

今年度は 61 市町村、248 名のモニターさんにご協力頂き、4,332 件の報告が寄せられました（表 1）。これにより、2007 年からの累計報告件数が 2 万件を突破！5 周年と合わせ、とてもきりの良い累計結果となりました。セイヨウの全捕獲数は 33,282 頭で、昨年度の 35,954 頭と比較して減少していますが、女王の捕獲数は 3,966 頭（2010 年度、全体の 11%）から 5,401 頭（2011 年度、全体の 16%）と増加しています。1 頭当たりの捕獲効果は営巣すれば少なくとも数百匹は産卵<sup>(a)</sup>する女王の方が、ワーカーと比較

図 2：2007～2011 年度捕獲数の推移



して遥かに高いことから、2011 年度は、全体として前年度よりも効率良く捕獲がなされたことが伺えます。

初報告は、昨年の 4 月 5 日（北見市）とほぼ日を同じくして 4 月 4 日に東川町より頂いております（表 2）。1 日開けて 4 月 6 日に恵庭市と北見市から届き、そして函館市、帯広市・・・と間を置かずに続きます。シーズン最後の報告は 11 月 12 日、旭川市及び美瑛町から届きました。2011 年の夏は気温の変動が激しく、辛い思いをされた方もいらっしゃると思いますが、セイヨウもそんな気候に翻弄されたのかもしれませんが、「今年はセイヨウと在来、どちらの姿も比較的少なかった」というお便りが何通も寄せられました。報告が届かなくなる時期は 11 月中旬と、これまで通りのものですが、今年度、11 月の捕獲数は過去最

(a) 女王の産卵数、または巣（コロニー）のサイズについてのご質問はよく頂きますが、具体的な数が分からないのがマルハナバチのコロニーサイズです。このサイズはコロニーや環境によって大きく異なり、セイヨウは数百～千数百程度と考えられています。ただし、商用のセイヨウはより生産性の高い系統が選抜されているため、野生種よりも大きなコロニーを作る可能性は十分にあります。

振興局	参加者数	報告件数	目撃数	捕獲数	女王	花粉付女王	ワーカー	巣	初報告日
上川	57	926	4,397	3,927	1,105	105	2,823	1	2011/4/4
宗谷	1	5	15	10	4	0	6	0	2011/5/23
留萌	1	12	85	66	61	0	5	0	2011/5/4
道北小計	59	943	4,497	4,003	1,170	105	2,834	1	
石狩	54	80	1,052	915	155	12	760	0	2011/4/6
空知	14	340	1,223	854	245	40	609	1	2011/4/14
後志	1	5	13	3	0	0	8	0	2011/7/26
道央小計	69	425	2,288	1,772	400	52	1,377	1	
胆振	1	10	41	41	1	0	40	0	2011/7/28
渡島	6	214	637	377	200	4	177	0	2011/4/11
日高	4	50	791	523	214	19	309	0	2011/5/3
道南小計	11	274	1,469	941	415	23	526	0	
オホーツク	24	494	18,818	14,897	2,030	110	12,842	0	2011/4/6
十勝	26	397	5,867	5,007	536	27	4,471	1	2011/4/11
根室	50	512	4,321	4,000	304	33	3,696	1	2011/5/6
釧路	9	469	3,086	2,662	546	392	2,116	1	2011/5/8
道東小計	109	1,872	32,092	26,566	3,416	562	23,125	3	
全道総計	248	3,514	40,346	33,282	5,401	742	27,862	5	

表 2：振興局別報告結果

注 1) データは 2012 年 3 月初旬時点での集計結果です。最新情報は「セイヨウ情勢」<http://www.seiyoubusters.com/seiyou/> でご覧頂けます。  
注 2) 初報告日の日時は該当年に初めて捕獲された日時であり、セイヨウの飛び始める時期を示すものではありません。

春 (4月～6月上旬)		夏 (6月中旬～8月)		秋 (9月～11月)	
1位	キャットミント	1位	ラムズイヤー	1位	コスモス
2位	ツツジ類	2位	ムラサキツメクサ	2位	サルビア類
3位	エゾエンゴサク	3位	シロツメクサ	3位	キャットミント
4位	タンポポ類	4位	ポピー	4位	マリーゴールド
5位	ダイヤーズ/カモミール	5位	キャットミント	5位	ムラサキツメクサ
6位	ナタネ	6位	セントジョーンズワート	6位	ハナトラノオ
7位	キバナオドリコソウ	7位	ラベンダー	7位	シロツメクサ
8位	サクラ類	8位	オレガノ	8位	ラベンダー
9位	グミ類	9位	コスモス	9位	ヒマワリ
10位	シャクナゲ類	10位	ヒソップ	10位	ユウゼンギク

表3：  
花ごとのセイヨウ  
ウ捕獲数ランキ  
ング(春・夏・秋)

大の60頭となりました。セイヨウはマルハナバチの中では長期間活動する種です。11月に入っても飛んでいたセイヨウを、皆様が粘り強く捕獲して下さった結果がこの数字に表れています。本当にお疲れ様でした！

振興局別で見ると、2011年度はオホーツクからの捕獲数が14,897頭で最多となりました。なかでも北見市の捕獲数が飛びぬけて高く、特に公園で効率的に捕獲されています。また、この公園からはセイヨウの報告と同時に在来種の目撃報告も頂いております。全捕獲数はオホーツクに続き、順に十勝、根室、上川、釧路が多くなっていました。全捕獲数では4番目の上川ですが、女王捕獲数はオホーツクに次いで多く、女王に狙いを絞った活動が引き続きなされていることが分かります。

### セイヨウがよく捕獲される花

2011年度においてセイヨウが捕獲された花のランキングは表2のようになりました。まず春は、春先に咲くエゾエンゴサク、そして春先から長期間咲いているツツジ類で多く捕獲されています。そして今年は6月頃からのキャットミントの報告が突出して多く、1位となりました。このキャットミントの報告は大半が北見市の公園から寄せられ

たもので、時間あたりの捕獲数が多く、この公園がセイヨウにとって好条件<sup>(b)</sup>であることが見て取れます。夏はラムズイヤー、ムラサキツメクサ、シロツメクサの順に並び、ラムズイヤーは春のキャットミント同様北見市からの報告が主でした。ムラサキツメクサ、シロツメクサはどちらも一面に咲くタイプの花で、これらもセイヨウに好まれます<sup>(c)</sup>。秋は主にコスモスでの捕獲が多く、次点でサルビア類となっていました。また、秋だけでなく夏の方にもランクインしている花(キャットミント、ラベンダー、シロツメクサ等)は、花期が長く長期間セイヨウが利用する花であることを示しており、捕獲の際、標的にする花としては有用と言えるでしょう。

(b) セイヨウ(マルハナバチ)は、条件の良いポイント及びそこに咲いている花を記憶し、そこに通う定花性という性質があります。よって、北見市の公園、キャットミントが一面に咲くポイントは、非常に採餌効率が高く格好の資源採集地なのでしょう。

(c) ムラサキツメクサ、シロツメクサは花自身の性質上、多数の花が頭花をつかって咲きます。全体として蜜が多くセイヨウに好まれます。事務局には河川敷からの報告がよく寄せられています。



### 羅臼岳からの初報告

2011年8月28日、羅臼町Aさんから、羅臼岳高山帯(標高1256m)よりセイヨウ(ワーカー)の目撃・捕獲報告を頂きました。Aさんは羅臼岳登山道にて定点観測に取り組まれていたそうなのですが、**この標高で発見したのは初めてだとのこと**です。また、今回捕獲されたのはワーカーです。新女王やオスバチと異なり、**ワーカーは基本的に営巣場所から遠くまで飛びません**。風で飛ばされてきた可能性も否定はできませんが、標高の高いポイントで営巣している可能性があり、非常に憂慮すべき事態となってしまいました・・・今回報告を頂いたポイントからは、多くの在来種の目撃報告も寄せられています。羅臼岳付近にお住まいの方、羅臼岳に訪れる機会のある方は、**どうぞ目を光らせてセイヨウの侵入防止にご協力下さい!**

※尚、羅臼岳についての詳しい観察記録は、3月末発行の知床博物館の研究報告に掲載予定とのことです。各研究報告は知床博物館のwebサイトで閲覧可能ですので、3月末以降、是非サイトをチェックしてみてください。





## 春の捕獲活動のお願い

—セイヨウがよく捕獲されている春の花は？—

ご存知の方も多くいらっしゃると思いますが、春の女王の捕獲は営巣数の抑制につながり非常に効果的です。今回の報告書では、改めて春の活動をお願いするとともに、これまで寄せられた報告を基に、春、どんな花でセイヨウが捕獲されてきたのかを報告致します。

### 何故春に？

春は女王バチが営巣を開始する時期。営巣前の個体は地表付近をふらふら飛びながら営巣場所を探し、営巣に成功した個体は最初のワーカーを養うために蜜や花粉を集めて回ります。このタイミングでの女王捕獲には大きな効果があると期待されます。

### 後に生まれてくるワーカー、そして新女王を一気に抑える

営巣成功個体（花粉団子付き女王）を捕獲すれば、確実に巣を1つ除去したことに。

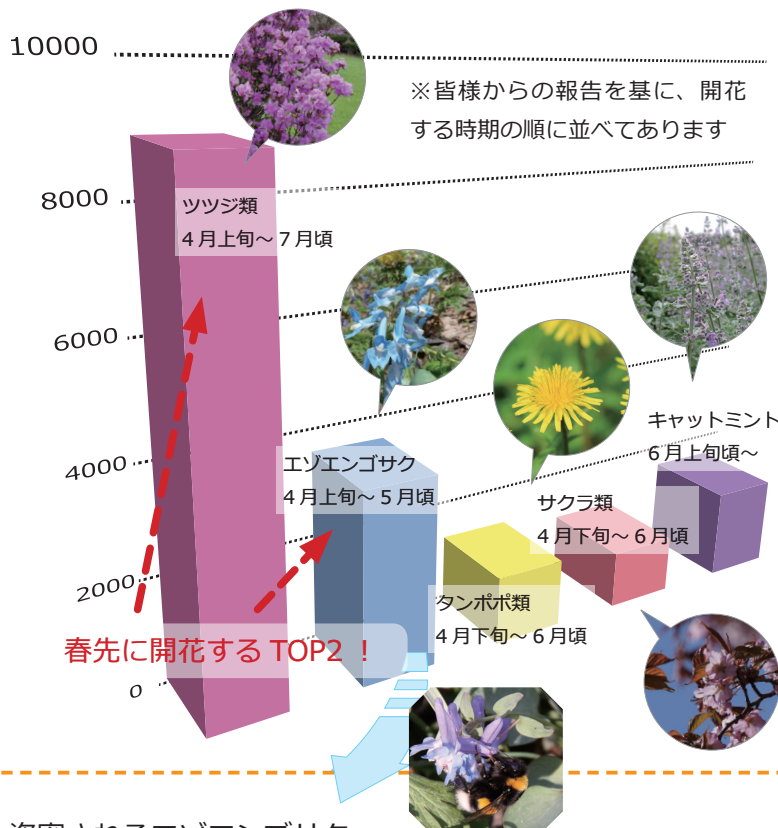
### 在来バチにも営巣のチャンスが

マルハナバチにとって、営巣場所の確保は大きな課題です。競争力の強いセイヨウに、ネズミの古巣など営巣場所を押さえられてしまうことは、共通した営巣場所をつかう在来のマルハナバチ（エゾオオマルやエソトラマル）への大きな脅威となります。1頭でも多くの在来が営巣するためには重要な期間です。

### ターゲットの花を絞りやすい

春の始めは咲いている花が限定され、的を絞って捕獲にあたるのが可能です。飛んでいるセイヨウの総数が少ない時期でも、条件が整った場所を見つけてしまえば捕獲は容易になります。

## 春の花別セイヨウ累計捕獲数（2007-2011）

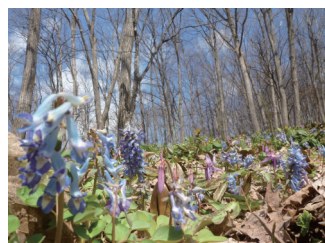


2007～2011年の5年間、春の花別のセイヨウ累計捕獲数は左図のようになりました。特に開花時期の早いツツジ類とエゾエンゴサクが狙い目です。ツツジ類は公園樹や庭木として多く用いられている花ですので、比較的簡単に出会える花です。また花期も長く、監視する花をこまめに変えずに済むのでお手頃とも言えるかもしれません。一方エゾエンゴサクは主に林縁部に自生しています。市街地ではあまり見かけないかもしれませんが、身近な場所に心当たりのある方は、ちょっと足を伸ばして探してみてください。これまでは神社や原生花園からの報告を良く頂いております。

TOP5にランクインしたタンポポ類、サクラ類、キャットミントはツツジ類同様身近な存在なのではないでしょうか。ご近所にこれらの花がたくさん咲いている場所はありますか？セイヨウ含めマルハナバチはより多くの花が咲いている場所に集まってくるので、そんな場所を見つけたら要チェックです。

### 盗蜜されるエゾエンゴサク

エゾエンゴサクは花筒が長く、舌の短いセイヨウには盗蜜されてしまいます。エゾエンゴサクのパートナーは、エソトラマルのような舌の長いマルハナバチが適切なのですが、攻撃性の高いセイヨウに追い払われてしまう可能性も。また、セイヨウが盗蜜のためにあけた穴からは在来のハチも盗蜜してしまいます。



### コラム

効率よく捕獲できるタイミング

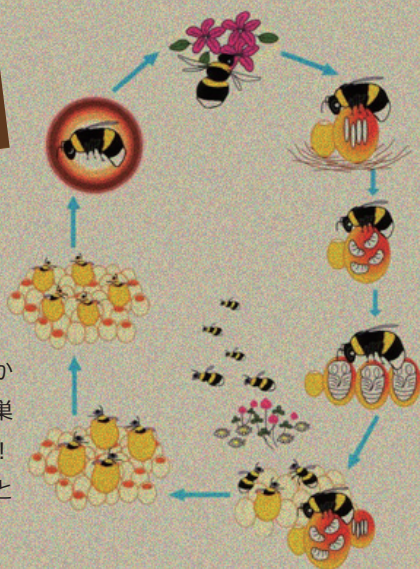
### 雨のあとがチャンス！

時々お便りも寄せられているので、お気づきの方も多いかと思います。雨が降っている間は、蜜や花粉を集めることはできません。雨上がりをじっと待っていたセイヨウ達は、晴れば待っていましたと花にやってきます。



# セイヨウの生活史 と 捕獲のポイント

秋～冬始め (9～11月上旬)  
新女王、オスバチが生まれ、巣から離れて分散します。翌春の営巣数を減らすため、新女王の捕獲を！  
また、広域的な分散を抑えることにも繋がると考えられます。



春先 (3月下旬～4月)

越冬から目覚めた女王が、巣探しをする時期。営巣前、または巣が発達する前に女王を捕獲し、営巣数の抑制を！

春～夏始め (5～6月)

営巣に成功した巣から、ワーカーが生まれ始める。この時期はまだワーカーが少なく、捕獲数が多くなくても巣への影響は大！

夏 (7～8月)

巣が大きく発達し、大量のワーカーが活動する時期。とにかく捕獲数を伸ばし、ワーカーが巣に持ち帰る餌資源を抑えることが必要です。好条件下では効率的に捕獲が可能。また目に付きやすいので、身近な場所で捕獲のチャンスが。不慣れな方やお忙しい方はこの時期に。

## 在来マルハナバチモニタリング

—在来種を見つけたら？—

セイヨウ情勢サイトでは在来種の報告も受け付けております。在来マルハナバチモニタリングは2009年に本格的に開始され、在来種の現状把握、及びモニターの皆様へ在来種の観察を通じてセイヨウ駆除活動の効果を実感して頂くことを目的としています。

ふと見たら庭先に来ていたマルハナバチ、お尻が白くないからセイヨウではない・・・でも在来の同定は難しくて分からない！そんなこと、今までありませんでしたか？もしデジカメをお持ちでしたら、是非写真に収め、目撃報告に添付して送って下さい！事務局にて同定致します。



エゾナガマル  
目撃数：  
395

シュレンク  
目撃数：  
268

エゾコマル  
目撃数：  
1776

エゾヒメマル  
目撃数：  
290

注1) 目撃数は累計です。

注2) イラストは全てワーカーです。

エゾトラマル  
目撃数：  
554

ハイロマル類  
目撃数：  
1008

アカマル  
目撃数：  
1789

エゾオオマル  
目撃数：  
11850

ノサブ  
目撃数：  
220

北海道のマルハナバチ一覧、「北海道に生息するマルハナバチたち」はセイヨウ情勢サイト右下、「参加方法」項目一番下の「北海道のマルハナバチ」よりダウンロードして頂けます。  
<http://www.seiyoubusters.com/seiyou/coneco/2010-bumblebees-hokkaido.pdf>  
随時ご活用下さい。

種名	目撃数	種名	目撃数
エゾナガマル	395	エゾコマル	1776
シュレンク	268	エゾヒメマル	290
エゾトラマル	554	ハイロマル類	1008
アカマル	1789	エゾオオマル	11850
ノサブ	220		

### マルハナバチ新女王の花嫁修業

「天気の良い午前中の十時前後は観察が特に楽しくなる時間帯だ。輝く毛並みをふさふさせたとときわ美しい新女王たちが、そろそろと外に出てくるのだ。初々しい女王様たちは、それぞれ一、二時間ほどあたりを飛びまわってから巣にもどってくる。翌年の付近での営巣に備え、地理的な感覚を養うなど、「花嫁修業」をしているに違いない。」(「天と地と人の間で」鷺谷いづみ 2006 より抜粋)  
日高の研究フィールドで、エゾトラマルの巣を発見、観察した際的一幕なのだそうです。「花嫁修業」なんて、とても愛らしいですね。モニターの皆様には、そんな愛らしい面も楽しんで頂ければと思います。



## お便り紹介

本年度も、皆様からたくさんのお便りを頂きました！その一部をご紹介します。

「今回初めてマルハナバチに追いかけられました。羽音をたてて、頭上を旋回しながら。マルハナバチも刺すのですか？（岩見沢市 Y さん）」

頭の上をぐるぐる回るのは、どうやらセイヨウに特徴的な行動のようです（在来種はまっすぐ飛んで逃げてしまいます）。これは、攻撃しようとしているのではなく、状況確認のためなのだから。基本的にマルハナバチはとてもおとなしく、人を刺すことはほとんどありません。セイヨウに刺されてしまうのは、やはり巣を掘り返している時や、網で捕獲し、容器に移している時がほとんどです。特に後者の状況はよく起こりますので、皆様、どうぞお気を付け下さい。

マルハナバチは寒さに強い分、暑さが大の苦手です。さらに蜂は飛ぶために体温を上げるため、真夏の昼に活動するのはもってのほか。皆様も暑い日はお休みして下さいね。

「日中の暑さ（約 30 度）を避けて、夕暮れ時に一斉に、働きに出たものと思える。その殆んどが、花粉玉をつけていた。今まで、姿が少ないと思っていたが、まだまだ居るんだと再認識した。（上富良野町 E さん）」

この 2 つのケースは、どちらもマルハナバチの定花性に関連していそうです。セイヨウと在来種が、偶然違う花を覚えてしまったようですね。

「在来のマルハナバチ、今季、初目撃です！10 分ほど前にはセイヨウを目撃・捕獲、訪花はセイヨウがラベンダー、ハイイロがツユクサで、住み分けてたのかな・・・。（七飯町 O さん）」  
「妻の花壇は夏の花で花盛り、セイヨウはラムズイヤーの花に、在来のマルハナバチはラベンダーの花にやってきました。（東川町 T さん）」

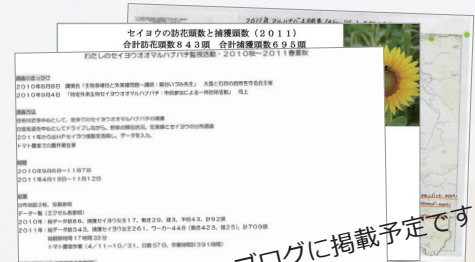
ハウチワカエデのような樹木は、マルハナバチが好んで利用します。これもやはり花をたくさんつけるため、もちろんセイヨウも集まってきます。ただ、樹木の場合花の位置が高く、捕獲しにくいのが難点ですね。ちなみに、マルハナバチは一個体が種類の花を利用しますが、二ホンミツバチはそれと対照的に一個体が複数の花を利用することが知られています。

（エゾオオマルの目撃報告に添えて下さったコメントです）「このハウチワカエデの木は、6 月 18 日にも蜂影（種名確認できず）を 1 目視。6 月 21 日には、青い実が結実して、蜂がいなくなりました。5 月 30 日に訪花しているのをみつけてから、ずいぶん長い間蜂が利用していました。（美瑛町 T さん）」

「登山道でセイヨウの飛来はありませんでした。当日、お会いした山岳ガイドさんの情報では 7 月に姿見の池周遊登山道でセイヨウ（女王・働き蜂の区分は不明）を見たとのことでした。裾合平から夫婦池までの花の中心はコガネギク、リンドウは蕾の状態でした。在来のマルハナバチは、夫婦池の淵に雪融けの遅れのせいで夏の花が多く残っており、そこに集中して飛んでいました。（東川町 T さん）」

本年度は大雪山高山帯からの報告という形でのセイヨウの確認情報は寄せられませんでした。お便りの形で情報を頂きました。姿見の池付近を飛んでいたようです・・・引き続き、監視のご協力をお願い致します。

美瑛町 T さんよりご自身の観察記録をまとめたレポートを頂きました！上川地方でのセイヨウ会議資料用に作成されたそうです。



# システム改修点のご案内

皆様から頂いたご意見を基に、セイヨウ情勢データ入力システムの改修を行いましたのでご案内致します。

## ① 連続入力がスムーズに || 報告を続けて入力する際、システムトップ画面を通さずに入力できるようになりました。

周囲の環境	セイヨウ	
種名	セイヨウ	
目撃・捕獲数	目撃数1 / 全捕獲数0 / うち女王捕獲数0 / うち花粉付き女王0 ワーカー・オス捕獲数0	
ハチの行動		
写真画像	(画像1なし) (画像2なし) (画像3なし)	
薬の有無	無	
メモ欄		
その他入力したいことを何でもお書きください		
この内容で送信	送信後に複製し連続入力	入力画面に戻る
入力画面に戻ると添付した写真画像が一旦外されます。写真画像を付け加えたい場合には、入力画面で再度写真画像を指定してください。		
ブラウザの戻るボタン (backボタン) で編集画面に戻ると編集した内容が一部失われます。修正したい場合は「入力画面に戻る」ボタンを押して戻ってください。		

内容がほぼ重複している報告を複数送る際に便利な、「最後に入力した報告を複製して入力」機能へのショートカットができました。内容確認画面から「送信後に複製し連続入力」をクリックすると、すぐに入力画面が表示されます。

## ② CSV ファイルとしてダウンロードできる項目の追加 || 「花名」の項目が追加されました。

最初のページ 前のページ 1 2 3 4 5 次のページ 最後のページ 4274 件 (ページ 1/428)

最後に入力した報告を複製して入力  
新しい情報を入力  
これまでに入力した報告を全て表示  
これまでに入力した報告をCSVファイルとしてダウンロード

ユーザ情報変更

ご自身で入力された報告の内容は、全て CSV ファイルとしてダウンロードが可能です。これまでの報告を一度に閲覧する際、まとめる際などにご活用下さい。

### 捕獲場所の詳細な記述のお願い

捕獲場所は、分かる限り詳細な入力をお願いします。市町村までの入力ですと、周囲の環境が把握できず解析が非常に困難です。皆様のご理解とご協力を頂ければ幸いです。

セイヨウ情勢

2011年の活動成果

2011年の最新状況

活動報告書

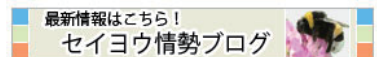
年ごとの情報

### セイヨウ情勢サイトも一部リニューアルしました！

ブログのバナーを設置しました

最新情報はこちらをチェック！

このバナーが目印です。

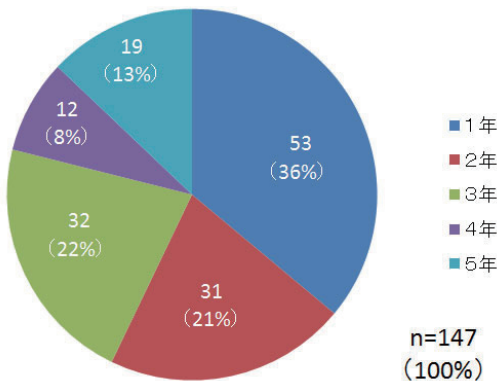


過去の報告書をまとめました

在来種の表示カラーが変わりました

セイヨウのみの報告があったポイントは従来通りピンク、セイヨウと在来が混在しているポイントは紫、在来のみポイントは水色で表示されます。

### 2011 年度参加者の活動年数

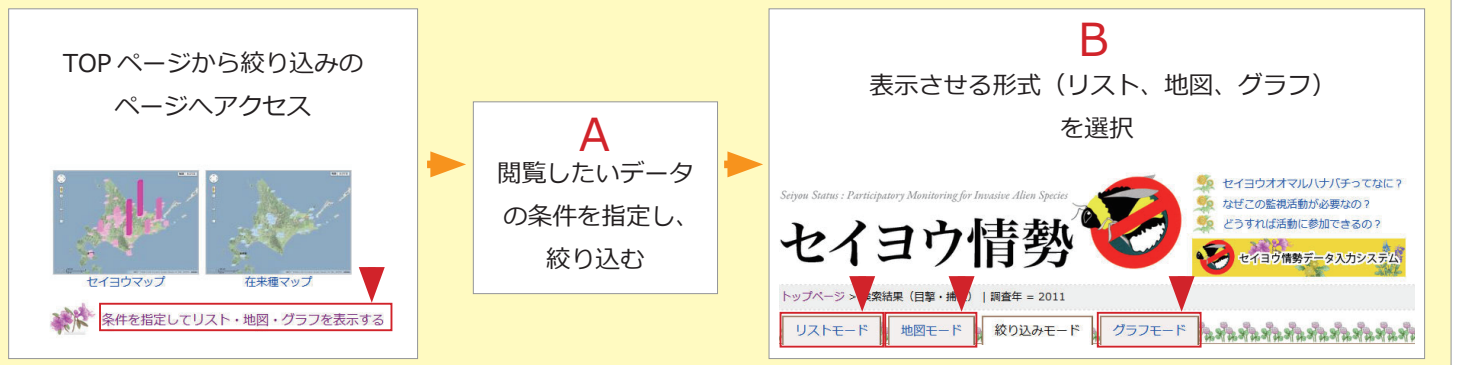


(※参加者の内訳が不明なグループ、イベントのみでの参加者は除いております)

5年間、皆様に支えられてきましたセイヨウオオマルハナバチ「モニタリング活動」。今年度の参加者のみなさんの活動年数を見てみたところ、初年度の2007年から欠かさずに報告を下された方が19名もいらっしゃいました！そして3年以上の方は、合わせて63名！セイヨウの拡大を防止し、更に現状を把握するためには継続的なモニタリングが必要です。長年のご協力を頂いてきた皆様に、この場をお借りして御礼申し上げます。本当に有難うございました！！今後ともご協力を賜りましたら幸いです。そして2011年度に初めて報告を送って下さった皆さま、2012年度も報告を継続して頂きますようお願い申し上げます。



主な操作の流れ



ー以下に具体例を用いて紹介致しますので、是非活用してみてください！ー

① 2011 年度（年度内）のセイヨウの訪花データをリストで見る

**A** 条件を指定 種別：セイヨウ、行動区分：訪花を選択

種別

セイヨウ(3515) エソオオマル(431) アカマル(137) ハイイロマル(81) エソコマル(56) エソナガマル(40) エソトラマル(40) シュレンク(12) エソヒメマル(5) 不明(4) ニセハイイロ(2) ノサップ(1) ハイイロ(1)

行動区分

訪花(3980) 飛来(132) 葉探し(74) (56) その他(44) 巣穴出入り(20) 不明(14) 越冬中(3) 交尾(2)

**B** 表示形式を選択 リストモードを選択

トップページ > 検索結果 (目撃・捕獲) | 調査年 = 2011

リストモード 地図モード 絞り込みモード グラフモード

検索結果 (目撃・捕獲)

2009 年度以降はワーカーとオスを区別して集計していないため、オスの数はワーカーの数に含まれます。

データ種別	報告件数	目撃数	捕獲数	女王	花粉付女王	ワーカー	オス
全データ	3,229	39,234	32,352	5,134	732	27,199	0
高精度データ	3,229	39,234	32,352	5,134	732	27,199	0

報告ID	調査年月日	調査市町村	調査地住所	種別	行動区分	目撃数	捕獲数	女王	花粉付女王	種別
11-00002	2011 4 14	上富良野市	上富良野町	セイヨウ	訪花	1	1	1	0	*
11-00004	2011 4 30	苫小牧市	苫小牧市美園2条6丁目	セイヨウ	訪花	2	1	1	0	*
11-00005	2011 5 05	上富良野町	空知郡上富良野町南町3	セイヨウ	訪花	1	1	1	0	*
11-00006	2011 4 27	千歳市	千歳市清流	セイヨウ	訪花	8	6	6	0	*

※リスト表示の場合、全てのデータがひとつのページに表示されます。絞り込みの条件が少ない場合、膨大なデータが一度に表示されてしまいますのでご注意ください。

② 2011 年度（年度内）の上川振興局のエゾオオマルのデータを地図で見る

**A** 条件を指定 振興局：上川、種別：セイヨウを選択

振興局

上川(1180) オホーツク(696) 根室(570) 釧路(542) 十勝(453) 空知(359) 渡島(312) 石狩(114) 日高(57) 留萌 胆振(13) 後志(9) 宗谷(6)

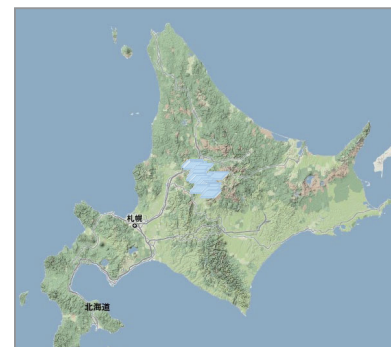
種別

セイヨウ(3515) エゾオオマル(431) アカマル(137) ハイイロマル(81) エソコマル(56) エソナガマル(40) エソトラマル(40) シュレンク(12) エソヒメマル(5) 不明(4) ニセハイイロ(2) ノサップ(1) ハイイロ(1)

**B** 表示形式を選択 地図モードを選択

トップページ > 検索結果 (目撃・捕獲) | 調査年 = 2011

リストモード 地図モード 絞り込みモード グラフモード



※地図表示の場合、目撃数はカウントされませんので、目撃ポイントのみの表示となります。

※絞り込みを解除したい場合は、各項目右下、「絞り込み解除」をクリックして下さい。

本報告書の掲載写真は全てモニターの皆様から寄せられたものです。

作成：2012年3月

東京大学保全生態学研究室

セイヨウオオマルハナバチモニタリングプログラム事務局 北野紀子 堀本理華 樋口満里 須田真一 鷲谷いつみ

〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学 農学生命研究科 保全生態学研究室

Tel: 03-5841-8915 Fax: 03-5841-8916 E-mail: busters@cons.es.a.u-tokyo.ac.jp